

●環境ふれあい交流施設
(ピオスおおがた)の設置
及び管理に関する条例

指定管理者制度設置条例の不備な箇所の整合性を図るための改正です。関係する施設(なぶら、特産品加工施設、ピオス等)の指定管理の手続きや使用料金の算定基準が統一されました。

●水道事業特別会計補正
予算

上川口配水地耐震補強工事が入札不調になったことと、国道56号大方改良工事が遅れたことにより配水管布設工事が来年度に繰り越されました。

●平成26年度一般会計

■幡多地域観光振興キャンペーン

昨年「楽しまん」と！はた博」の成果を受け、広域での観光戦略づくりを行うための負担金157万円が計上されました。

■白石団地の分譲

佐賀の高規格道路建設事業に係る家屋移転先として造成された26区画のうち7区画を26年4月から1区画100坪(坪6万3千円)での分譲を予定し、これに係る工事予算が組まれました。



分譲予定の白石団地

■その他各種工事費等は町長選挙が終わった6月補正で計上される予定です。

●第三セクター(株)黒潮町
缶詰製作所の指定管理

施設建設工事も3月いっぱいまで終わり、町長を社長とする第三セクターが指定されました。

教育
厚生

国保税1人あたり
約12%の値上げ



教育厚生常任委員長
西村 将伸

●国保税値上げ

平成20年度以来、赤字が続く国保会計の条例改正案が出されました。改正内容は、大幅な保険税負担を避けるための緩和措置として、一般会計からの法定外繰入3千万円を予算化し、新たに国保税の値上げ分、1人あたり約12%(821円)(合計約3千万円)の負担と合わせ、国保会計の黒字化を目指すものです。消費税も上がり、住民生活をさらに圧迫するとの反対意見と、現行税率では年々歳入不足が拡大し続けることから、仕方がないとの賛成意見があり、可否同数で委員長裁決により可決されました。

●平成26年度一般会計予
算

■佐賀保育所移転基本計画策
定委託料 993万円

佐賀保育所に通う児童の津波防災対策を最優先して、保護者や住民から安心してもらえる場所に保育所を移転する計画予算が組まれました。

■防災教育事業

963万円

町内の学校において、3年計画(総予算は約2500万円)で防災教育に取り組む予算です。その内容は、群馬大学・片田教授の下、学校の津波防災教育を保護者、及び地域住民を巻き込むことで、地域全体に津波防災教育を波及させていくことが目的の事業

です。

■黒潮町史編纂の予算

233万円

文化振興費として、合併後10年を見ずして本年度より3年計画で町史を編纂する予算が組まれました。

■田の口小学校体育館耐震補
強工事

4千万円

この予算で、町内全ての学校施設の耐震補強が完了することになります。



耐震工事予定の田の口小学校体育館

■大方中央保育所再生可能工
ネルギー等導入工事

2399万円

保育所に、国の補助で太陽光パネル、畜電池等を備える新たな事業です。